



みどりの風

公益財団法人
奈良市生涯学習財団 月ヶ瀬公民館
奈良市月ヶ瀬尾山 2815 番地
TEL&FAX 0743-92-0346
発行人 館長 上田 善紀
発行日 平成29年7月26日(水) 第3号

「こんな講座をしました」①

〜梅干し作り〜



手作り・梅酵素ジュースに続いて、梅を使った主催講座の第2弾「梅干し作り」を、6月21日(水)に実施しました。市街地から集まった10名の参加者に講師を務めていただいた徳家眞さん(桃香野)が、懇切丁寧なアドバイスをしてくださいました。

講座当日は大雨という天気予報を受けて、石井安久さん(尾山)所有の梅畑で前日のうちに収穫しておいた60kgの梅を1人3kgずつ配り、おのおのが和やかに作業をしました。

徳家さんから、月ヶ瀬についてより関心を持ってもらおうと、園生姫伝説から烏梅まで、月ヶ瀬の梅にまつわる話をたっぷりしていただきました。

今年すでに、1ト以上もの梅を漬けた徳家さんから「徳家流」梅干しの漬け方を伝授していただき、どの参加者も満足に帰途につきました。



↑園生姫の絵本を片手に、月ヶ瀬の梅の歴史を語る徳家 眞さん。

「こんな講座をしました」②

〜甘酒作り〜



7月14日(金)、初めて企画した甘酒作り講座を実施しました。江戸時代には、夏バテ対策の定番だったという甘酒。水分や糖分、塩分がバランスよく入った熱中症防止の飲料として、近年にわかに脚光を浴びていますね。今回は、「甘酒の素」ともいえる甘糍作りの一つのプロセスを体験しました。

講師に還奈月(かんなづき)の皆さん

講師としてきていただいたのは、石打の料理愛好グループ「還奈月(かんなづき)」(代表・西浦 甲(こう)さん)の皆さんです。

その活動の来歴は古く、約40年前に若いお母さんたちが、むかしから引き継がれてきた郷土料理を学び合おうと、当時の公民館活動「乳幼児学級」に集まったことが始まりです。

現在、「遊休農地を活用した仲間づくり」をコンセプトに、地産の米と大豆を使用し、古くから継承されてきた技法で味噌、塩糍、甘糍の生産をされています。

「自慢の味噌は「糍美素(こじみそ)」と名付けて、月ヶ瀬温泉いれあい市場で、また月1回JR奈良駅前の朝市で販売しています。還奈月の皆さんは、1月の講座「味噌づくり」にも来ていただくことになっていきます。

県の事業に認められて

みずからの生きがいづくりと地域おこしにつなげている活動が、県の目にとまり、「地場産の米と大豆を使った味噌作りで農地の活用と生きがいづくり」として、平成26年に助成事業「奈良県高齢者生きがいワーク創設支援事業」に採択されました。

現在、その助成金を活用して石打地区内に本格的な加工場を設けて、糍ともち米で作る甘糍をはじめ、味噌や塩糍などを手がけています。

現在、8名のメンバーで活動されていますが、この講座には辻井君代さんと山根慶子さんが講師として務めていただきました。



にこやかに甘糍の作り方を説明する山根 慶子さん(左)と辻井 君代さん

月ヶ瀬薫風

豊洲問題で、にわか注目をされた大型複合施設が「千客万来施設」。千客万来とは、多くの客などが次から次に出入りすることです。▼そこまでの顔を出していただくことが、地域の顔を出していただくことにはつながりません。自主グループが多い市街地の公民館とは違い、館利用が少ない月ヶ瀬ですが、講座などに関係なく気軽に立ち寄っている方々が少なくありません。とてもうれしいことです▼バンビーホームの子どもたちも大勢、先生に連れられて図書室にきてくれます。大きな声で挨拶をして読書を楽しんでいる月ヶ瀬っ子です▼あつ、新しいお客さんも…。軒下にツバメがマイホームを作りました。

「こんな講座をしました」③



「茶芽っ子クラブ」の2回目は
そうめん流し。夏休みに入っ
て心
が浮き立って7月22日(土)、15名
の子もたちがそうめん流しを楽
しみました。徳家真由さんの手
ほ
じぎのもと、自分がサンドペー
パーでみがいた竹の容器とおぼ
し
で食べたソーメンは格別でした。

■阪本 真由さん(1年) …めっちゃ
くちや、ちようすスピードでなが
れ
てきたからおもしろかった。

■西原 明里さん(1年) …そうめ
んが
いっぱい流れてきてたのし
かった。

■井岡 悠人くん(3年) …(後片
づ
けで水のかけあいをして)めち
やくちや気持ちいい。

■西浦 永弥子さん(3年) いろ
ん
な食べ物で、もうおなかいっぱい
です。

■西浦 爽さん(4年) …メロンが
お
いしかったです。

■小西 捷斗くん(4年) …そうめ
ん
もやけど、高級メロン!?がお
い
しかったです。

■久保田 琳平くん(4年) …初め
て
のそうめん流しは、予想してい
た
ものとは違って、意外と楽しか
った。

■大谷 綾乃さん(4年) …自分で作
っ
たうつわだったから、いつものそうめ
ん
よりもおいしかったです。

■相和 伊織くん(4年) …そうめん
だ
けかと思っていたら、いろんな食べ物
が
流れてきてびっくりでした。

■橋本 千陽さん(5年) …初めての経
験
で、思っていたよりも楽しかった。

■相和 小町さん(5年) …いきなりフ
ル
ーツがいろいろ流れてきてびっく
り
しました。

■西脇 春菜さん(6年) …たくさんの
友
だちと食べたことで楽しかったし、
お
いしかったです。

■西原 乃愛さん(6年) …そうめん
だ
けで足りるんかなって思ったけど、お
な
かいっぱいでした。

■尾上 崇和くん(6年) …いちばん下
で
待ち構えていた。予想どおりいっぱ
い
流れてきたけど、清丸くんを取ら
れ
て「収入源」がおちた。

■久保田 清丸くん(6年) …2年ぶり
に
参加、これですすしくなれました。



いまか、いまかと…

月ヶ瀬小・中学生のみなさんへ



夏休みはエネルギー充電期

自分だけの時間の使い方

毎日の学校生活では「この時間
に
なれば」する「時間」と「この
た
め」にする「目的」というワケ
の
中で過ごしています。また部活
動
や習い事などでいそがしい毎日
を
送っているように感じよう。

いよいよ始まった40日間の長
い
夏休み。時間と目的という生
活
から少し離れて、自分の気持ち
の
おもむくままに、何かをしてみ
る
時間を持つてみませんか。

いつか読もうと思っておいてお
い
た本をいっきに読む、宿題では
な
い何か一興味を持っているこ
と
を調べる、好きな教科について
よ
りくわしく自学する、家庭で責
任
を持った仕事を引き受ける…、
と
いったような思いの時間を
持
つことも大事なことです。

先生から与えられた課題ではな
い、
だれかから指示されたことでも
な
ない、自分が選んだ何かをする
楽
しさや喜びが感じられること
で
しょう。それが2学期に向けての
エ
ネルギーとなってきます。夏休
み
は「心のエネルギー充電期」な
の
です。



楽しい演劇公演がありました



7月1日(土)、アマチュア劇団
「
ハイ」による楽しいオペラ公演
が
多目的ホールで催され、約200
人
の観客を楽しませてくれました。

堅苦しいオペラではなく、楽し
い
演出で、おなじみの「シンデレ
ラ」
を演じ、小学生から高齢の方
ま
で楽しい50分間を過ごしまし
た。

今年の月ヶ瀬文化祭には、グ
ェ
ストとして招待する予定です。



王子がシンデレラにくつをはかせる場面。継母たちがのぞいています。